

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鹿児島県

行事名称	ふるさと考古歴史館 文化財防火運動
実施期間・日時	令和6年1月26日
実施場所	鹿児島市下福元町 3763-1
主催者	鹿児島市立ふるさと考古歴史館

■実施内容

訓練の想定

地震発生後に当館1階から火災が発生し、自衛消防隊が初期消火するも火勢が強く延焼拡大。避難誘導中に職員1名が転倒負傷したほか、常設展示室に逃げ遅れた来館者1名がいる想定。

訓練の内容

地震発生時の身を守る行動、火災報知器発報時の現場確認、報告、自衛消防隊による初期消火、館内放送、119番通報、避難誘導。

地域消防団による逃げ遅れの救助、放水訓練。

参加者及び役割分担

財団職員、清掃、設備（12名）：自衛消防隊指揮、館内放送、119番通報、初期消火、避難誘導、負傷者役
文化財課職員（3名）会計年度任用職員（5名）：避難誘導、重要物品の搬出、逃げ遅れ役
南消防署谷山分遣隊：現場指揮、救助、放水訓練

特に工夫した点

緊急地震速報の放送を流し、身を守る行動を取る訓練を、自衛消防隊活動訓練に加えて行ったこと。

問題点・課題

訓練自体も実際に始まると実施要領とおりにはいかないことがある。

本当に火災が発生した場合は、なおさら訓練通りにはいかなことが想定されるので、柔軟に対応すること。

その他

毎年、文化財防火デーに併せて消防訓練を行うことで、職員の文化財愛護意識の高揚と自衛消防隊の強化及び地域消防団との連携強化を図る機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



放水訓練の様子



指揮所の様子